



Weekly金融市場

調査第二部

お問い合わせ：03-3233-7753

Mail: taguchi@nochuri.co.jp

安藤範親

《来週のポイント》

来週は、29日に「日銀短観」が発表される。大企業・製造業の景況感を示す業況判断指数(DI)のエコノミスト予想(ブルームバーグ)平均はプラス7と6四半期連続の改善が予想されているが、3カ月先の先行きDIはプラス3と、円高や米景気減速懸念、エコカー補助金打ち切りにより悪化する見方が大勢である。このところの為替介入による株式市場の上昇も、予想を下回れば悪材料となるだろう。

米国では、28日に「S&Pケースシラー住宅価格指数(7月)」、「CB消費者信頼感指数(9月)」が発表される。住宅価格指数は、4月末に終了した住宅購入者向け税控除措置の効果切れの影響が出ると想定され、前月比▲0.1%と予想されている。また、消費者信頼感指数は前月から下落し52.5と予想されており、いずれも悪化する見通し。30日には「4-6月期GDP(確報)」が発表。改定値と同じ1.6%と予想されている。1日は、「個人消費支出・個人所得(8月)」が発表、ともに前月比0.3%と2カ月連続の増加が予想されており、支出・所得は引き続き緩やかながら高まっていると見られる。以上の結果次第では、21日のFOMC声明による追加金融緩和の可能性示唆を受けたドル安の流れを後押しする形にもなり、注目したい。

経済指標としては、日本で27日に「貿易統計(8月)」、30日に「鉱工業生産(8月)」、「住宅着工統計(8月)」、1日に「家計調査(8月)」、「失業率(8月)」、「CPI(8月全国など)」が、米国では1日に「ミシガン大学消費者信頼感指数(9月確報)」、「ISM製造業景況指数(9月)」が発表される。

来週のスケジュール(9/27~10/1)

月 日	国内の予定	海外の予定
9月27日(月)	白川日銀総裁講演(大阪市) 「貿易統計(8月)」	EU トリシェ ECB 総裁講演(フランクフルト、ブリュッセル) EU 「マネーサプライ(8月)」
9月28日(火)	2年利付国債入札(発行予定額:2.6兆円)	米 ロックハート・アトランタ連銀総裁講演(テネシー) 米 「S&P ケースシラー住宅価格指数(7月)」 米 「CB 消費者信頼感指数(9月)」
9月29日(水)	日銀短観(企業短期経済観測調査、9月)	米 「MBA 住宅ローン申請指数(先週分)」 EU 「ユーロ圏景況感指数(9月)」
9月30日(木)	「鉱工業生産(8月)」 「住宅着工統計(8月)」	米 「新規失業保険申請件数(前週分)」 米 「4-6月国内総生産(GDP、確報)」 EU EU財務相、中央銀行総裁会合(～1日、ブリュッセル) EU 「消費者物価指数(9月速報)」
10月1日(金)	臨時国会召集 流動性供給入札実施(発行額3,000億円程) 「有効求人倍率(8月)」 「家計調査(8月)」 「失業率(8月)」 「消費者物価指数(8月)」	米 ダドリー・ニューヨーク連銀総裁講演(ニューヨーク) 米 「個人消費支出・個人所得(8月)」 米 「ミシガン大学消費者信頼感指数(9月確報)」 米 「ISM 製造業景況指数(9月)」 EU 「製造業景況指数(9月改定)」 EU 「失業率(8月)」



1. 来週発表予定の経済指標予測

8月の貿易統計【9月27日（月）8:50】

＜当社予測＞通関貿易収支:原系列 1,268億円(7月:8,020億円)、季調済 4,374億円(7月:6,104億円)

輸出については自動車や鉄鋼を中心に輸出数量の増加が続いており、金額ベースで前年比 19.0%の増加が見込まれる。一方、輸入は、緩やかながらも国内需要の持ち直しが続き原料輸入が増加していることから、同 20.6%の増加になると予想する。この結果、通関貿易収支は 1,268 億円の黒字が見込まれる。(岡山)

日銀短観 9月調査【9月29日（木）8:50】

＜当社予測＞業況判断DI:

大企業製造業	現状 6	先行き 5	(6月:現状1、先行き3)
大企業非製造業	現状 ▲1	先行き ▲2	(6月:現状▲5、先行き▲4)
中小企業製造業	現状 ▲15	先行き ▲16	(6月:現状▲18、先行き▲19)
中小企業非製造業	現状 ▲25	先行き ▲29	(6月:現状▲26、先行き▲29)

10年度設備投資計画(リース会計対応ベース):大企業 前年度比 2.5%(6月調査時:同 2.7%)
 中小企業 同▲20.0%(6月調査時:同▲23.3%)

詳細は本誌 9 月 10 日号掲載のレポートをご覧ください。(南)

8月の鉱工業生産【9月30日（木）8:50】

＜当社予測＞前月比 1.2%(7月:▲0.2%)、前年比 17.2%(7月:14.2%)

8 月分の製造工業生産予測指数は、鉄鋼業、電気機械工業、一般機械工業等の上昇で前月比 1.6%と 3 ヶ月ぶにかつ大幅なプラス予想。関連指標の大口電力使用量が同 1.3%(当総研による季節調整)と 2 ヶ月ぶりに増加したから、鉱工業生産もほぼ同様の結果が予想されるが、直近ピークの 5 月の水準を上回ることはできない。9、10 月分の製造工業生産予測指数は前月比 0.5%、同▲1.0%と見込む。(南)

8月の新設住宅着工戸数【9月30日（木）14:00】

＜当社予測＞前年比:5.3%(7月:4.3%)、戸数(季調済年率換算):72.5万戸(7月:77.2万戸)

住宅エコポイント制度の申請件数(7 月新築分)は 19,748 戸(前月比 66.5%)で、新設住宅戸数の 30%程度が対象となる模様。一方、貸家は、所得・雇用環境が依然厳しく低迷が続いている。着工戸数は 5 ヶ月連続の 80 万戸割れが見込まれる。(岡山)

8月全国、9月東京都区部の消費者物価【10月1日（金）8:30】

＜当社予測＞9月東京 総合:前年比▲1.1%(8月:▲1.0%)、コア:同▲1.2%(8月:▲1.1%)

8月全国 総合:前年比▲0.9%(7月:▲0.9%)、コア:同▲1.2%(7月:▲1.1%)

消費財・サービスに関する需給環境は悪化したままであり、価格下落状態が続いている。また、最近の落ち着いた国際原油市況動向により、エネルギーの物価押上げ効果も解消方向にあるため、全国コアCPIの前年比は 2 ヶ月連続で下落幅が拡大すると予想。(南)

8月の雇用統計【10月1日（金）8:30】

＜当社予測＞完全失業率:5.1%(6月:5.2%)、有効求人倍率:0.53倍(6月:0.53倍)

7 月の就業者数は 30 ヶ月ぶりに増加に転じたほか、非自発的な離職を原因として就職活動を行う完全失業者も減少しているため、完全失業率は小幅改善を予想する。一方、有効求人倍率については新規求人数、同求職者数とも減少傾向にあることから、7 月から横ばいと見込む。(寺林)

8月の家計調査・実質消費支出【10月1日（金）8:30】

＜当社予測＞全世帯:前年比 0.4%(7月:1.1%)、勤労者世帯:0.4%(7月:1.0%)

8 月の新車販売台数(軽を含む乗用車)は前年比 37.7%とエコカー補助金期限切れ前の駆け込み需要により激増した。一方、記録的な猛暑により、エアコンなどの夏物家電は前月に引き続き好調だったが、逆に衣料品は秋物が不振であった。飲料についても水分補給のための清涼飲料が伸びたが、ビールやコーヒーは敬遠されるなど、明暗が分かれた。景気ウォッチャー調査・現状判断 DI は前月比▲4.7pt で、暑さで人出が途絶えた影響が出ている。ただし、全般的に消費は底堅く推移したものと予想。(安藤)

2. 株式市場

◎相場概況 (10/09/17～10/09/24前場)

矢島 格

【米国 (NY) 市場】 (10/09/17～10/09/23)

米国の株式相場は、週半ばまでは良好な企業決算などを材料にして上昇。週後半は、FOMC (連邦公開市場委員会) で具体的な追加緩和措置が講じられなかったことや雇用情勢の低迷や欧州の景気減速を示す経済指標が発表されたことなどを受けて下落に転じた。

先週17日は、テクノロジー関連企業的好調な決算発表を好感して上昇。20日は大幅高。住宅建設大手の予想を上回る決算発表や全米経済研究所 (NBER) が昨年6月に景気後退期を脱したと発表したことが買い材料とされた。21日は小動き。FOMCで追加金融緩和の可能性を示したものの具体的な措置がとられなかったことから材料出尽くし感が強まった。22日は、ソフトウェア大手の予想よりも悪い業績見通しの発表に加え、7月の住宅価格指数が予想を下回ったことを受けて下落。23日は、新規失業保険申請件数の予想以上の増加や欧州景気の先行き不安を示す経済指標が発表されたことが嫌気され続落。また、ボルカー元FRB議長が講演で米国住宅ローン市場は完全に破綻している (absolutely broken) と発言したことも、金融セクター中心に売り材料とされた。

<終値>ダウ平均：10,662.42 (前週末比+54.57)、S&P500：1,124.83 (同▲0.76)、
ナスダック総合：2,327.08 (同+11.47)

【東京市場】 (10/09/21～10/09/24前場)

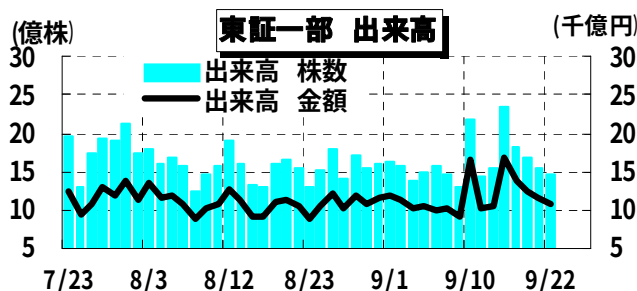
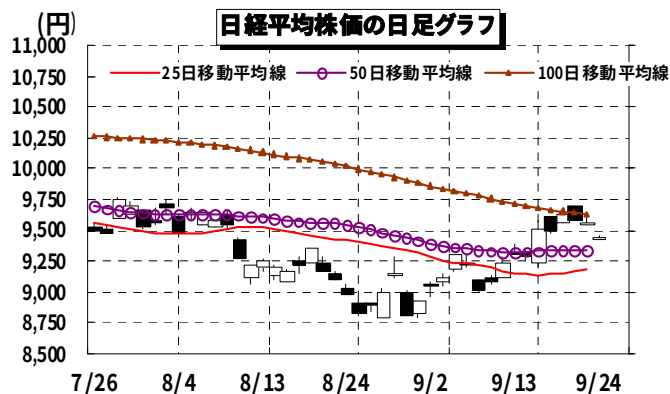
日本の株式相場は、飛び石連休をはさんで様子見ムードが強いなか売られる展開となった。米国FOMCで今後の追加金融緩和の可能性が示唆されたことを受けて、円高進行の懸念が再燃したことも嫌気された。また、欧米の景気減速への警戒感が売り材料とされた。

3連休明けの21日は、前日の米国株高の流れを受けて買い先行ではじまったが、中間期末を意識した利益確定売りなどが優勢となり小幅安で終えた。22日は、祝日を控えて動意薄のなか続落。米国FOMCで追加金融緩和の可能性が示唆されたことを受けて、為替相場が円高に振れたことが売り材料となった。24日前場は、米国の雇用情勢の低迷や欧州景気の先行きに対する警戒感が強まり、大幅安となった。業種別では、33業種中28業種で前週末比下落した。

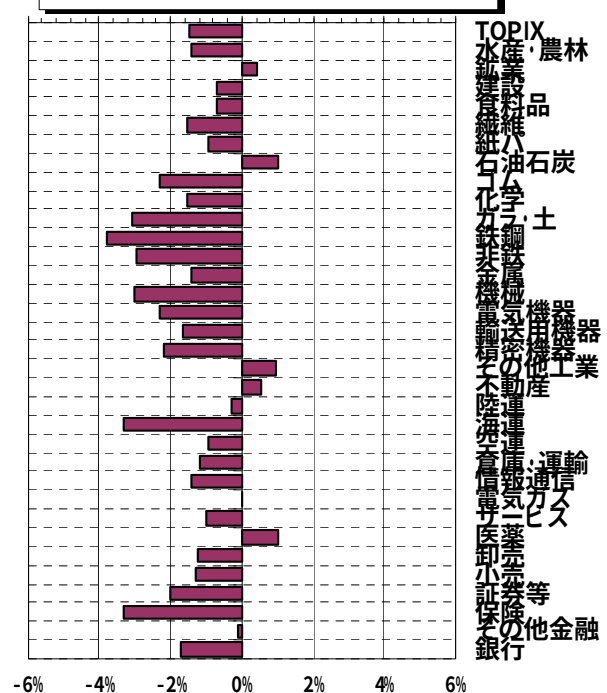
<終値>日経平均：9,446.71 (前週末比▲179.38)、TOPIX：839.76 (同▲12.33)

◎来週の日本株相場予想 (10/09/27～10/10/01)

再び円高進行リスクへの警戒感が出てきたことから、上値の重い展開を予想する。為替介入の影響力が低下していくなか、改めて今後の政府・日銀による政策対応の動向が注目される。また、尖閣諸島沖での中国漁船衝突事件の進展次第では、日中関係悪化による経済への悪影響が懸念される局面も否定できない。



TOPIX 業種 (33) 別 前週末比変化率



●決算発表 注目銘柄 (変更になることがありますのでご注意ください) (資料) Bloombergデータより農中総研作成

米国 - (9/27) ジェイビルサーキット、ハイチェックス (9/28) ウォルグリーン (9/29) ファミリー・ダラー、マイクロン・テクノロジー (9/30) マコーミック

日本 - (9/27) イオンクレジット、ライトオン (9/29) ニトリホールディング (9/30) ナガイレーベン、日本化薬、ポイント、しまむら (10/1) ユニー

3. 債券市場

田口さつき

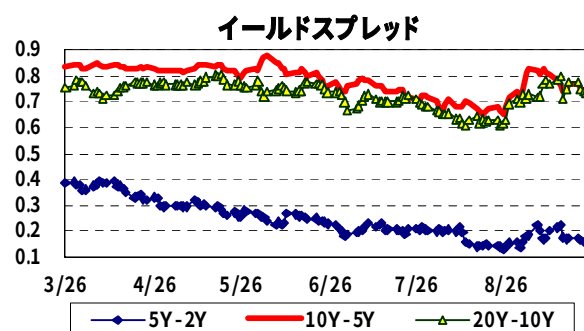
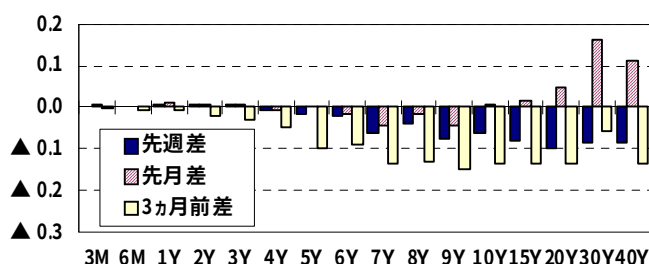
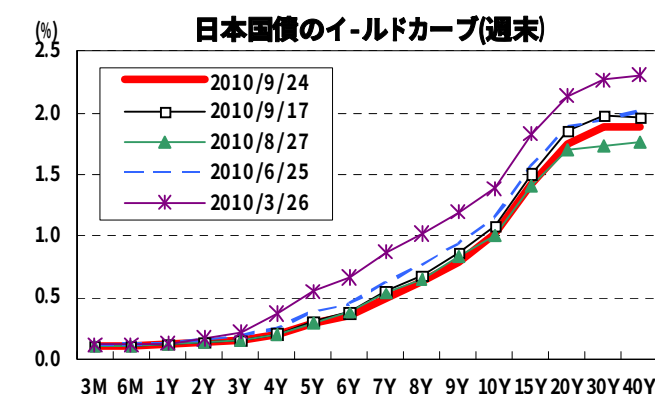
◎相場概況 (9/21～9/24前場)

連休明け21日の債券相場は、同日の米国のFOMCを控えて様子見となり、長期金利(新発10年国債利回り)は先週後半の流れを引き継いで1.05%前後でもみ合った。翌22日は、米国のFOMC声明文で「追加金融緩和を行う用意がある」と表明されていたことから、米国の長期金利が急低下したことを受け、長期金利は一時、9月上旬以来の1.00%まで低下。週末も一時1.00%になるなど、低位で推移。

今週のイールドカーブは先週から一段とフラット化が進行。24日11:00時点の長期金利は1.005% (先週末比▲0.065ポイント)、債先12月中心限は142円87銭 (先週末比+1円75銭)。

◎来週の相場予想 (9/27～10/1)

米FRBの追加金融緩和が次回11月にも行われるとの見方から米長期金利に低下圧力がかかっている。また、円買いドル売り圧力は強まり、日銀に対しても円高進行を阻むため、国債買い入れ額の増加を訴える市場の声も大きくなっている。このように、当面は長期金利に低下圧力がかかりやすい状況が続くと見られる。



(資料) Bloombergデータより農中総研作成

◎国債入札結果 (価格競争入札のみ)

銘柄(回号)	表面利率	発行予定額	募入決定額	応募額	応札倍率	平均価格	最低価格	最高利回り
9/21 TB (3M: #139)		4.8兆円	4兆4,667.2億円	21兆7,303億円	4.86倍	99.9725円	99.9720円	0.1123%
9/22 JGB (#78、10Y、#274～305、20Y、#56～83)	0.3兆円		2,996億円	9,552億円	3.19倍			

◎来週の国債入札予定

9/28	2年利付国債	2.6兆円程度
9/29	国庫短期証券(3ヵ月: #140)	4.8兆円程度
10/1	流動性供給入札(20年: #86～117、30年: #5～32)	0.3兆円程度

4. 外国為替市場・商品市況

岡山正雄

◎相場概況 (9/20～9/24前場)

【外国為替市場】

今週の円ドル相場は、概ね円高方向に推移した。週初は、米FOMCの追加緩和期待から、円高に推移して始まったものの、為替介入への警戒感から小幅の動きだった。しかしながらFOMCの声明で「必要に応じて追加緩和を実施する用意がある。」と、追加緩和について一段と踏み込んだ内容となると大きく円高へと推移し、23日には一時1ドル＝84.26円と為替介入以降の円高水準を更新した。その後は少し円安に推移したものの、週末にかけて米新規失業保険申請件数が事前予想を上回り、週末は1ドル＝84円台半ばで取引されている。

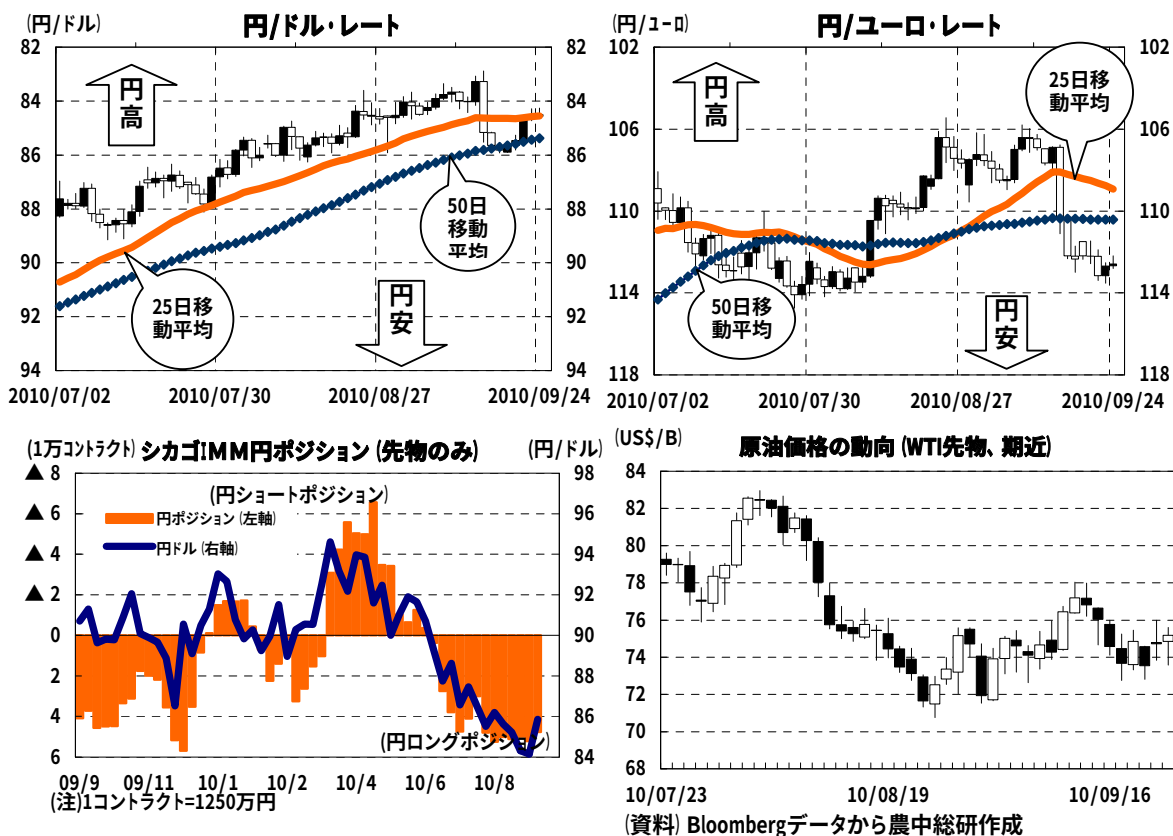
ユーロドル相場は週半ばまでユーロ高に推移したものの週末にかけてユーロ安に推移。週初から週半ばにかけてはFOMCの追加緩和期待からユーロ高に推移し、一時1ユーロ＝1.3438ドルと10年4月以来のユーロ高水準となった。しかし、週末にかけてはアイルランドの第2四半期GDP伸び率が、事前のプラス予想に反して前期比▲1.2%となったことから、アイルランド経済への先行き懸念が再燃。ユーロ安に推移し、週末にかけては1ユーロ＝1.33ドル前後で取引されている。ユーロ円相場は週末にかけて1ユーロ＝112円台半ばでの取引。

【商品市況】

原油相場は、NBER（全米経済研究所）が米国経済の景気後退は09年6月に終息したと発表したことや、割安感から週初は買われたものの、その後週半ばから週末にかけては、景気の先行き不安や原油在庫が大幅増となったことから下落。週末にかけては1バレル＝74ドル台後半での取引。金相場はドルが対主要通貨でドル安となったことから先週に引き続き、買われる展開となり、22日には1トロイオンス＝1298.00ドルと史上最高値を更新した。週末にかけては1トロイオンス＝1290ドル半ばでの取引。

◎来週の相場予想 (9/27～10/1)

円ドル相場は為替介入への警戒感はあるものの、円高圧力は根強く、徐々に円高に推移し、1ドル＝84円に近づく展開を予想。ユーロドル相場はユーロ圏の景況感回復の一方で、アイルランド経済への先行き不安から、様子見の展開か。



農林中金総合研究所

5. 指標分析・注目点

①今週のレビュー

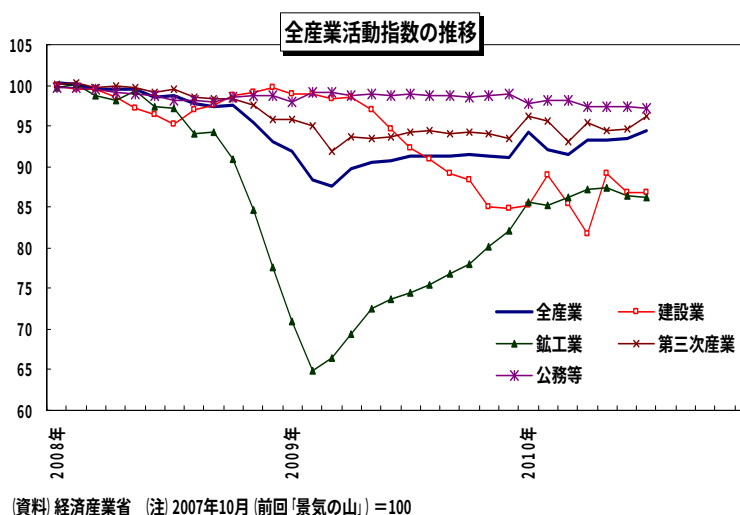
南 武志

政府は、先週 15 日に 6 年半ぶりの円売りドル買いの為替介入に踏み切ったが、日本銀行もその介入資金を即時吸収せず、とりあえず市場に放置することで、より効果が高い非不胎化介入的なものとなった。22 日付けの読売新聞では、それらの背景についてのインタビュー記事が掲載されたが、結局のところ日銀の判断は正しかったと言いたいのがゆえに、金融市場の FRB や日銀の政策スタンスに関する判断は誤認だとの主張も見て取れる。つまりは、FRB は引締めを見送ったに過ぎないのに対し、日銀は金融緩和を続けると言い続けてきた、と述べている。しかし、今回のグローバル金融危機や世界同時不況の中で、両者がどれだけの緩和措置を採ってきたかを考慮しなければ、この議論は片落ちであろう。日銀の金融緩和が不十分であったがゆえに、デフレ・円高圧力が続いていることを十分認識すべきである。

一方、21 日の米 FOMC では、金融緩和策は見送られたが、「必要に応じて追加の緩和措置を実施する用意がある」と表明したことで、金融市場では年内の追加緩和を織り込む動きも見られた。これを契機に、為替レートは再び円高方向に動いており、市場は日銀にはさらなる緩和を求めている。

一方、尖閣諸島沖での中国漁船衝突事件を巡り、同地域の領有を主張する中国政府からの執拗な抗議が続いている。23 日の日米外相会談では、米クリントン国務長官は尖閣諸島についても日米安保条約の適用対象となると発言しているが、一方の中国も全く譲る姿勢を見せない。一部では、レアアースの対日禁輸措置をとるとも報じられているが、仮に、両国間の経済交流そのものが冷え込めば、中国に大きく依存している日本経済には大きな影響が出る可能性が高い。

以下、今週発表された経済指標について振り返ってみたい。7 月の全産業活動指数は前月比 1.0%と、2 ヶ月連続の上昇となった。鉱工業生産（前月比▲0.2%）、建設業（同横ばい）、公務等（同▲0.2%）は軟調だったが、第三次産業活動指数が同 1.6%と大幅に上昇したことで全体が押し上げられた。7 月分だけで 4～6 月平均を 1.2%上回っており、6 四半期連続での前期比プラスとなる可能性は高いだろう。



また、猛暑効果で売上げ増が期待された小売販売であるが、8 月のチェーンストア販売統計によれば、全体で前年比▲3.5%（店舗調整後で同▲1.1%）と振るわず。盛夏商品の動きは良かったが、余りの暑さに秋物商品の売行きが鈍かったとのことである。同様の動きは先週 17 日発表の百貨店売上高概況からも窺える。一方で、衣料品の取扱が皆無ともいえるコンビニエンスストアの売上高は堅調であった。全店ベースで同 2.9%と 3 ヶ月連続、既存店ベースでも同 1.0%と 2 ヶ月連続で、いずれも増加。また、来店客数もともに前年比増となっている。

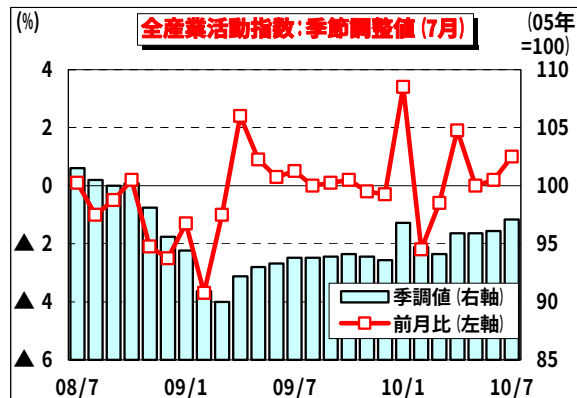
6. 今週の主なできごと

月 日	政治財政	経済金融	海外その他
9月17日(金)	・政府：菅改造内閣発足、「有言実行内閣」と命名。内閣の基本方針決定、景気への対応を最優先課題に ・野田財務相：為替相場に対して、防衛ラインは持っていないと明確に否定	・外為どっとコム 1 カ月業務停止命令、FX 取引全般で ・金型大手の富士テクニカと宮津製作所が経営統合 ・日本サッカー協会と八千代銀行、「夢先生」応援定期発表	・米ムーディーズ：菅首相再選に、国債格付け判断でプラスになるとの見方 ・米ユナイテッド航空とコンチネンタル航空の合併を株主が承認 ・GM：次世代環境エンジンの生産で米工場に、4 億 8,300 万ドル(約 415 億円)を投資すると発表
9月18日(土)	・民主党：小沢元代表、政治資金規正法違反事件で東京地検特捜部から 4 度目の事情聴取 ・海江田経済財政担当相：無利子国債導入や日銀法改正検討の見解示す ・自見金融・郵政担当相：金融円滑化法の期限延長を検討する考えを示す		
9月19日(日)			
9月20日(月)	・菅首相：閣僚、民主党幹部を集めた初の政策勉強会を開催 ・鉢呂国会対策委員長：郵政改革法案について、直すところがあれば修正する必要があると述べる	・日産自動車：ゴーン CEO、中国生産能力を 12 年までに 120 万台へ倍増する計画を発表	・アイルランド中銀：ホノハン総裁、2014 年までの財政赤字削減目標達成困難との見方を示す ・オバマ米大統領：人民元相場の上昇に向けた中国の取り組みは十分でないとの見解を示す ・レーン欧州委員：ギリシャとアイルランドが債務再編を行うことはないとの見解を示す
9月21日(火)	・馬淵国土交通相：中国漁船衝突問題で中国国家観光局副局長の表敬見送り ・菅首相：為替に急激な変化があれば介入せざるを得ないとの考えを示す	・三井住友銀行：コロンビア 2 位の銀行、バンコ・デ・ボコタと業務提携発表 ・みずほコーポレート銀行：中国、安徽省合肥市と日本企業誘致に関する業務提携を発表 ・全国銀行協会：次期会長に西堀みずほ銀行頭取就任内定	・仏：BNP パリバのプロ CEO、同行はバーゼルⅢ満たすための資本調達不要と語る ・米：サマーズ国家経済会議委員長：年内退任意意向表明 ・中国外務省：米の人民元相場批判に、賢明でないとけん制
9月22日(水)	・大畠経済産業相：法人減税、最低 5% 必要との認識示す ・中国漁船衝突問題で中国国家観光局幹部、国交相主催のレセプション欠席 ・大畠経済産業相：国内農業問題解決に、経産・農水の両省で EPA (経済連携協定) 対策検討チームを設置へ	・日本車輛：米で通勤車両 480 億円受注 ・シャープ：米国太陽光発電プラント開発大手のリカレント・エナジーを買収すると発表 ・アジア太平洋経済協力会議 (APEC) 観光相会合が奈良で開幕 (～23 日)	・ドバイ国際金融センター (DIFC) タイヤー総裁：アラブ首長国連邦の中銀からの支援はこれ以上必要ないと述べる ・ガイトナー米財務長官：米銀、融資減らすことなくバーゼルⅢを満たすことができるとの考えを示す
9月23日(木)	・国連ミレニアム開発目標 (MDGs) 首脳会合 (ニューヨーク) で菅首相演説、PKO など積極的貢献を表明 ・中国温家宝首相：主権や国家の一体性、領土の統合性について譲歩や妥協はないと述べる	・三菱東京 UFJ 銀行：十六銀行との合併支援で岐阜銀行に 300 億円前後を出資へ ・鹿野農水相：農業支援の財源に環境税を充てるべきとの考えを示す	・米大手レンタルビデオチェーン ブロックバスター：破産法第 11 条適用を申請 ・ボルカー元 FRB 議長：米住宅ローン市場について、完全に破綻していると指摘
9月24日(金)	・日米首脳会談：同盟深化で一致 ・大畠経済産業相：中国が日本向けレアアースの輸出枠発給を停止したことを明らかに		

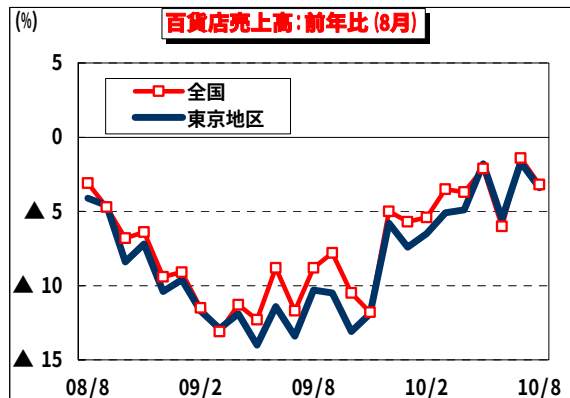
7. 内外経済指標の動向 (グラフ編)

【日本】

9月24日



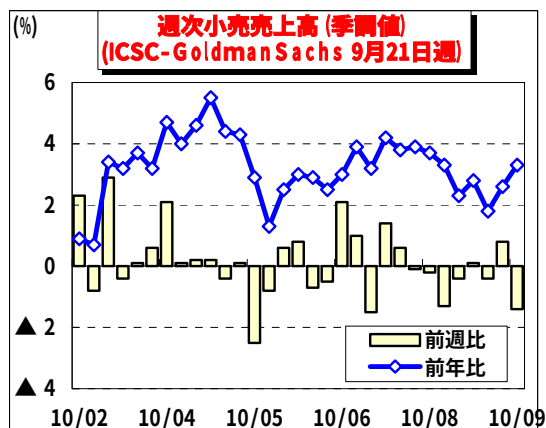
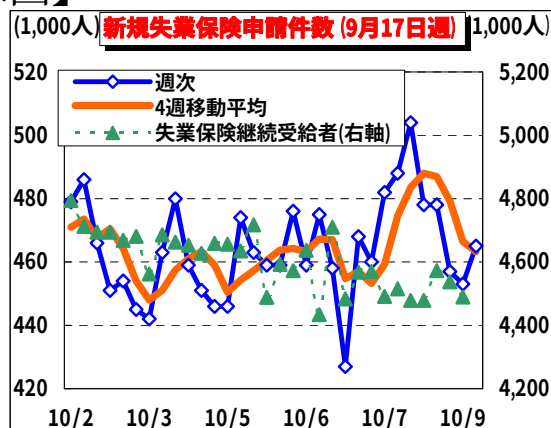
全産業活動指数は、前月比1.0%と2ヵ月連続の上昇。横ばいだった5月を除けば4ヵ月連続の上昇。



全国百貨店売上高 (店舗調整後) は、前年比▲3.2%の4,347億円と30ヵ月連続の前年割れ。東京地区百貨店売上高 (同) は、同▲3.4%の1,034億円。

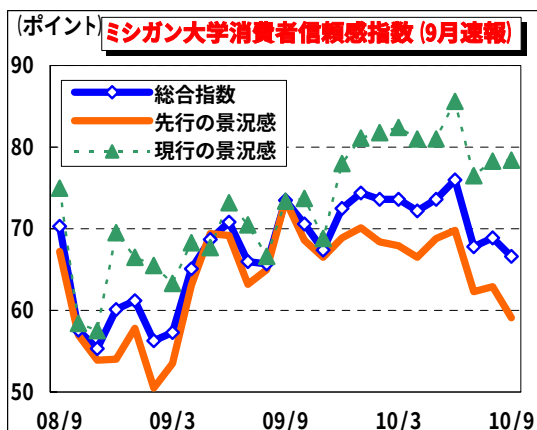
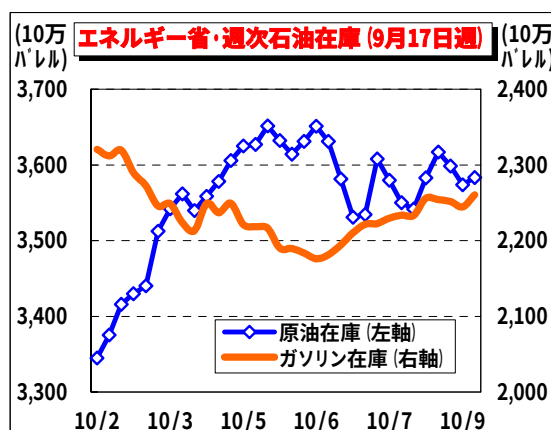
7. 内外経済指標の動向 (グラフ編)

【米国】



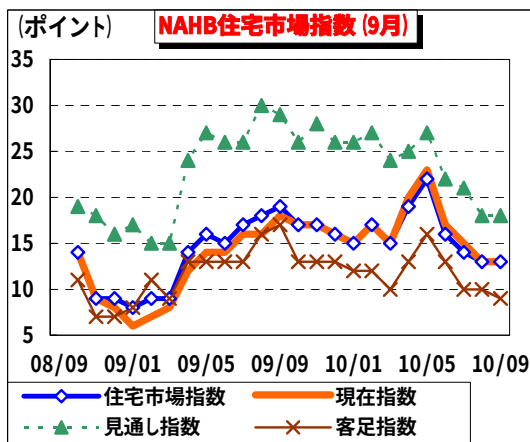
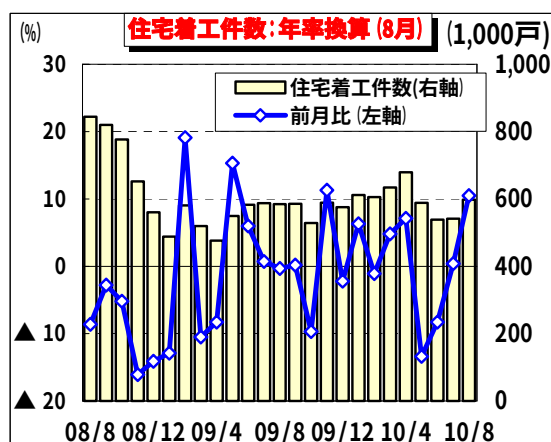
新規失業保険新規申請件数は46.5万人と事前予測(45.0万人)を上回った。4週移動平均は46.3万人。また、失業保険継続受給者(9月11日週)は448.9万人。

週次の小売売上高は、前週比▲1.4%下落、前年比3.3%と上昇した。



原油在庫は、前週から97万バレル増の3億5,834万バレル。ガソリン在庫は、前週から159万バレル増の2億2,606万バレル。

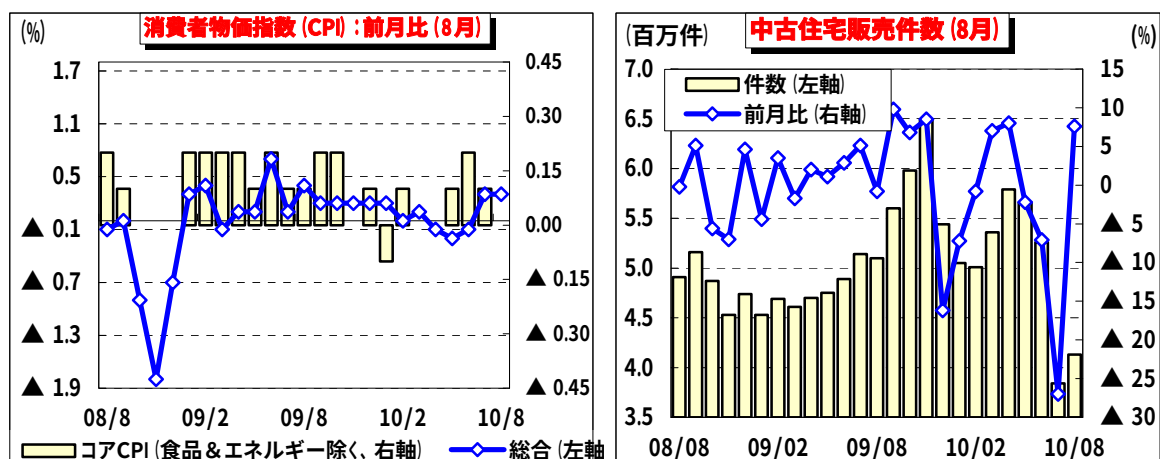
総合指数は、66.6と前月から(68.9)から低下した。先行指数は78.4。先行き指数は59.1。



住宅着工件数は、年率換算598千戸と事前予測(550千戸)を上回った。前月比は10.5%だった。先行指標である建設許可件数は前月比1.8%の569千戸。

全米ホームビルダー協会の住宅市場指数は、13と前月から横ばい。現在指数は13。見通し指数(向こう6ヵ月間)は18。購買見込み客足指数は9。

7. 内外経済指標の動向 (グラフ編)



消費者物価指数の総合は、前月比0.3%、前年比1.1%となった。食料、及びエネルギーを除いたコア部分は、前月比0.0%、前年比0.9%。

中古住宅販売件数 (年率換算) は、413万件と過去2番目に低い水準になった。前月比では7.6%。販売可能戸数 (在庫に相当) は、前月比▲0.6%の398万戸、在庫率は11.6ヵ月。

(Bloomberg データから作成)

内外金融市場データ

(農中総研 調査第二部作成)

	長期金利			短期金利					外国為替			内外株価指数					海外金利			その他		
	新発10 年国債 利回	債先 10年物 中心限 月	金利 スワップ レート 5年物 (円-円) 仲値	無担保 コール 翌日物	TIBOR ユーロ円 3ヵ月	LIBOR円 3ヵ月	TIBOR ユーロ円 6ヵ月	金利先物 (利回り) 中心限月	円ドル ・スポ ットレ ート東 京17:00 現在	ユーロ ドル ・スポ ットレ ート	ユーロ 円・ スポ ットレ ート東 京17:00 現在	日経平均 (225種)	TOPIX 終値	NYダウ 工業株 30種平均	ナスダック 総合	上海総合	米国 財務省 証券 10年物 国債利 回	LIBOR ドル 3ヵ月	独 国10年物 国債利 回	NY 金先物 期近	WTI 期近	OPEC バスケット 価格
10/08/02	1.050	141.98	0.571	0.096	0.3731	0.240	0.491	0.310	86.74	1.318	113.41	9,570.31	850.69	10,674.38	2,295.36	2,672.52	2.961	0.44	2.698	1183.4	81.34	77.09
10/08/03	1.020	141.97	0.573	0.094	0.3731	0.241	0.491	0.310	85.99	1.323	113.67	9,694.01	859.18	10,636.38	2,283.52	2,627.00	2.909	0.43	2.607	1185.2	82.55	78.41
10/08/04	0.995	142.29	0.556	0.095	0.3731	0.241	0.491	0.310	85.53	1.316	112.89	9,489.34	845.93	10,680.43	2,303.57	2,638.52	2.950	0.42	2.604	1193.7	82.47	78.88
10/08/05	1.035	142.01	0.567	0.096	0.3723	0.241	0.490	0.320	86.33	1.319	113.50	9,653.92	857.09	10,674.98	2,293.06	2,620.76	2.901	0.42	2.562	1197.2	82.01	78.69
10/08/06	1.055	141.87	0.579	0.097	0.3723	0.240	0.490	0.320	86.10	1.328	113.63	9,642.12	861.17	10,653.56	2,288.47	2,658.39	2.817	0.41	2.519	1203.4	80.70	78.15
10/08/09	1.015	142.13	0.562	0.098	0.3723	0.242	0.490	0.315	85.65	1.322	113.83	9,572.49	857.62	10,698.75	2,305.69	2,672.53	2.829	0.40	2.525	1200.7	81.48	78.28
10/08/10	1.030	141.93	0.572	0.105	0.3723	0.240	0.490	0.320	85.66	1.318	112.81	9,551.05	854.68	10,644.25	2,277.17	2,595.27	2.759	0.40	2.537	1196.2	80.25	76.87
10/08/11	1.005	142.16	0.560	0.099	0.3723	0.240	0.490	0.315	85.10	1.286	111.18	9,292.85	834.45	10,378.83	2,208.63	2,607.50	2.681	0.38	2.428	1197.5	78.02	75.40
10/08/12	0.995	142.22	0.560	0.096	0.3723	0.240	0.490	0.325	85.71	1.283	110.78	9,212.59	827.78	10,319.95	2,190.27	2,575.48	2.746	0.38	2.421	1214.8	75.74	73.73
10/08/13	0.980	142.39	0.550	0.093	0.3723	0.240	0.490	0.320	85.93	1.275	110.53	9,253.46	831.24	10,303.15	2,173.48	2,606.70	2.672	0.37	2.393	1214.9	75.39	72.64
10/08/16	0.945	142.68	0.535	0.093	0.3715	0.240	0.490	0.320	85.86	1.283	109.99	9,196.67	828.63	10,302.01	2,181.87	2,661.71	2.563	0.36	2.330	1224.5	75.24	72.27
10/08/17	0.945	142.70	0.530	0.091	0.3708	0.239	0.489	0.320	85.26	1.289	109.70	9,161.68	826.78	10,405.85	2,209.44	2,671.89	2.632	0.35	2.363	1226.6	75.77	73.25
10/08/18	0.900	142.88	0.522	0.095	0.3692	0.239	0.486	0.320	85.48	1.285	109.80	9,240.54	835.23	10,415.54	2,215.70	2,666.30	2.632	0.35	2.347	1229.7	75.42	73.05
10/08/19	0.930	142.75	0.516	0.091	0.3677	0.239	0.485	0.310	85.78	1.282	109.74	9,362.68	843.98	10,271.21	2,178.95	2,687.98	2.575	0.34	2.312	1233.8	74.43	73.03
10/08/20	0.925	142.86	0.507	0.092	0.3677	0.239	0.485	0.305	85.35	1.271	109.41	9,179.38	829.59	10,213.62	2,179.76	2,642.31	2.611	0.33	2.271	1227.2	73.46	71.78
10/08/23	0.935	142.83	0.512	0.094	0.3677	0.239	0.485	0.305	85.40	1.266	108.42	9,116.69	824.79	10,174.41	2,159.63	2,639.37	2.598	0.32	2.286	1226.9	73.10	70.93
10/08/24	0.910	142.92	0.513	0.097	0.3669	0.239	0.485	0.305	84.56	1.263	106.76	8,995.14	817.73	10,040.45	2,123.76	2,650.31	2.488	0.31	2.180	1231.8	71.63	69.69
10/08/25	0.910	143.06	0.507	0.095	0.3669	0.236	0.485	0.295	84.57	1.266	107.27	8,845.39	807.31	10,060.06	2,141.54	2,596.58	2.534	0.30	2.146	1239.5	72.52	70.00
10/08/26	0.935	142.82	0.520	0.089	0.3669	0.234	0.485	0.310	84.72	1.272	107.75	8,906.48	811.79	9,985.81	2,118.69	2,603.48	2.476	0.30	2.157	1235.4	73.36	71.41
10/08/27	0.995	142.55	0.537	0.094	0.3669	0.232	0.485	0.315	84.66	1.276	107.76	8,991.06	819.62	10,150.65	2,153.63	2,610.74	2.645	0.30	2.200	1236.0	75.17	72.36
10/08/30	1.030	142.45	0.542	0.095	0.3669	休場	0.485	0.315	85.12	1.266	108.37	9,149.26	829.21	10,009.73	2,119.97	2,652.66	2.529	休場	2.135	1238.0	74.70	73.05
10/08/31	0.975	142.99	0.512	0.095	0.3631	0.234	0.480	0.310	84.24	1.268	106.65	8,824.06	804.67	10,014.72	2,114.03	2,638.80	2.468	0.30	2.116	1249.0	71.92	72.39
10/09/01	1.020	142.51	0.528	0.093	0.3554	0.233	0.474	0.300	84.18	1.281	107.11	8,927.02	811.40	10,269.47	2,176.84	2,622.88	2.573	0.30	2.224	1246.8	73.91	72.49
10/09/02	1.105	142.21	0.549	0.091	0.3554	0.233	0.472	0.315	84.16	1.283	107.70	9,062.84	819.42	10,320.10	2,200.01	2,655.78	2.623	0.29	2.283	1252.1	75.02	72.89
10/09/03	1.145	141.90	0.573	0.090	0.3554	0.230	0.470	0.315	84.30	1.290	108.17	9,114.13	823.70	10,447.93	2,233.75	2,655.39	2.697	0.29	2.354	1249.8	74.60	73.05
10/09/06	1.185	141.17	0.634	0.097	0.3554	0.231	0.470	0.330	84.16	1.288	108.56	9,301.32	838.71	休場	休場	2,696.25	2.703	0.29	2.336	休場	休場	73.46
10/09/07	1.135	141.55	0.608	0.087	0.3554	0.230	0.470	0.330	83.90	1.268	107.33	9,226.00	834.92	10,340.69	2,208.89	2,698.36	2.594	0.29	2.255	1257.9	74.09	73.03
10/09/08	1.130	141.78	0.582	0.092	0.3554	0.230	0.470	0.325	83.68	1.272	106.15	9,024.60	820.99	10,387.01	2,228.87	2,695.29	2.656	0.29	2.297	1256.1	74.67	74.04
10/09/09	1.120	141.86	0.583	0.090	0.3554	0.230	0.470	0.330	83.65	1.270	106.07	9,098.39	826.84	10,415.24	2,236.20	2,656.35	2.759	0.29	2.336	1249.4	74.25	74.48
10/09/10	1.150	141.23	0.608	0.093	0.3554	0.229	0.470	0.340	83.94	1.268	106.93	9,239.17	833.72	10,462.77	2,242.48	2,663.21	2.792	0.29	2.400	1245.0	76.45	74.66
10/09/13	1.145	141.28	0.604	0.089	0.3554	0.229	0.470	0.340	83.93	1.288	107.51	9,321.82	837.65	10,544.13	2,285.71	2,688.32	2.748	0.29	2.427	1245.6	77.19	75.06
10/09/14	1.105	141.38	0.593	0.089	0.3554	0.229	0.469	0.315	83.22	1.300	107.35	9,299.31	834.87	10,526.49	2,289.77	2,688.52	2.679	0.29	2.371	1270.2	76.80	75.54
10/09/15	1.050	142.12	0.535	0.089	0.3554	0.228	0.468	0.295	85.46	1.301	110.99	9,516.56	848.64	10,572.73	2,301.32	2,652.50	2.721	0.29	2.404	1267.1	76.02	75.37
10/09/16	1.040	142.26	0.521	0.090	0.3554	0.226	0.468	0.285	85.41	1.308	111.16	9,509.50	844.71	10,594.83	2,303.25	2,602.47	2.761	0.29	2.478	1272.2	74.57	75.49
10/09/17	1.070	142.12	0.531	0.086	0.3554	0.223	0.468	0.290	85.82	1.305	112.84	9,626.09	852.09	10,607.85	2,315.61	2,598.69	2.737	0.29	2.427	1275.9	73.66	74.95
10/09/20	休場	休場	休場	休場	休場	0.224	休場	休場	休場	1.306	休場	休場	休場	10,753.62	2,355.83	2,588.71	2.703	0.29	2.467	1279.3	74.86	75.26
10/09/21	1.045	142.38	0.521	0.089	0.3554	0.220	0.468	0.290	85.43	1.326	111.83	9,602.11	849.94	10,761.03	2,349.35	2,591.55	2.573	0.29	2.453	1272.7	73.52	75.34
10/09/22	1.015	142.65	0.511	0.090	0.3554	0.219	0.468	0.290	84.84	1.341	112.84	9,566.32	846.52	10,739.31	2,334.55	休場	2.558	0.29	2.349	1290.5	74.71	74.41
10/09/23	休場	休場	休場	休場	休場	0.219	休場	休場	休場	1.331	休場	休場	休場	10,662.42	2,327.08	休場	2.551	0.29	2.285	1294.6	75.18	
10/09/24		142.87			0.3554		0.468	0.285		1.334		9,446.71	839.76			2,546				1292.9	75.06	

(Bloomberg データから作成) 最終日は午前11:30現在。